

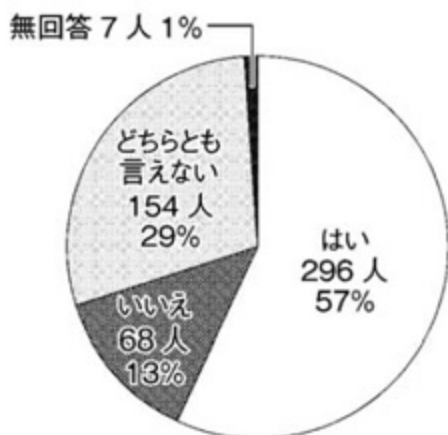
母校に転職支援期待

理工系女性は大学による転職や再就職のキャリア支援に期待している。東京都大女性研究者支援室が同大理工系の女性卒業生に実施したアンケートで、こんな声が多く上がった。20歳代、30歳代が8割を占めており、全体の8割が就職し、うち7割が研究職で活躍する。そんな中で大学への期待が、意外に高いことが分かった。

東京都大は著名な理工系女性の「スーパーロールモデル」ではなく、女子学生が身近に感じられるモデルを卒業生の実像で描こうと考へた。525人の調査で「卒業直後」の59%よりむしろ高いことだ。「今やりたいこと」の質問で回答上位は「現在の職種を選んだ理由は」（三つまで複数選

「研究・技術職」は「現在」が68%。興味深いのは「卒業直後」の59%よりむしろ高いことだ。「今やりたいこと」の質問で回答上位は「現在の職種を選んだ理由は」（三つまで複数選

大学の中に転職・再就職のためのキャリア支援をするシステムがあれば活用してみたいと思いますか



東京都大

位が「現在の職場の中での昇格」110人、「資格取得」68人など併せ、キャリアの志望に向けて就職後も積極的な様子が分かる。「現在の職種を選んだ理由は」（三つまで複数選

現在は「研究・技術職」68%

「職場で男女差を感じたことがある」のは全体の60%で、男性との業務の違いでコメントがあった。また、「卒業生同士のコミュニケーションは必要か」に「はい」としたのは58%、「どちらともいえない」が37%。「いいえ」は4%とごく少数だ。「大学の転職・再就職キャリア支援の仕組みがあれば活用してみたいか」も「はい」57%、「どちらともいえない」29%、「いいえ」13%で似た傾向だ。卒業後も大学の支援に期待する姿が明らかになった。

アンケートは2011年4月に、統合前の旧武蔵工業大学出身者を中心に理工系女性卒業生に対し行った。同窓会の武蔵工業会の協力で住所判明者に郵送で行い、回収率は23・5%。